

令和3年度使用中学校教科用図書
調査研究結果報告書

理 科



京築教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

中 学 校 教 科 書 一 覧

教科書種目	理 科
-------	-----

発行者名	番号	略称	教科書名(シリーズ)
東京書籍(株)	2	東 書	新しい科学
大日本図書(株)	4	大日本	理科の世界
学校図書(株)	11	学 図	中学校科学
教育出版(株)	17	教 出	自然の探究 中学理科
(株)新興出版社啓林館	61	啓林館	未来へひろがるサイエンス

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
理科	2	東書	新しい科学

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 野外生物や植物の観察などを通して、道徳教育と関連して、生命の尊重や自然環境の保全に寄与する態度の育成が図られている。 ○ 観察・実験の目的、着目点を明らかに示し、探究の過程をわかりやすくすることで、基礎的・基本的な知識・技能が身につけやすい構成になっている。
	2 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 導入場面には、身の回りの生物や日常的に目にする現象の観察が多く取りあげられており、生徒が探求の意義や進め方をイメージできるように漫画の解説を入れて探究活動の流れが見えるように配慮されている。 ○ 本文中コラム「つながる科学」や単元末コラム「世界につながる科学」で、日常生活や社会との関連を振り返ることができるように配慮されている。
	3 分量	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年ともゆとりをもって学習が進められるように、全学年の総時間数の90%程度で指導できるように、時数配分・学習指導計画が考えられ、教科書全体が編集されている。
	4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が主体的に探究的な学習に取り組めるように「問題発見」、「仮説」、「構想」、「分析・解釈」など、探究の過程に直結した学習内容が配置されており、科学的な思考力・判断力・表現力が自然に育成できるように配慮されている。 ○ つまづきやすい内容では、「例題」などが示されたり、記述がより丁寧にしめされたりしていて、自主学习する際に、克服できるように配慮されている。
	5 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインの観点から色覚の個人差が考慮され、折れ線グラフなどでは、色だけで区別せず、線の形を変えたり、線の意味を言葉で示したりといった配慮がされている。 ○ 写真が多いため裏ページの印刷が透けて読みにくくなるようなことがないように、不透明度の高い用紙が使用されている。
教科ごとの選定の観点	<ol style="list-style-type: none"> 1 探求的な学習に取り組めるように、「問題発見」、「仮説」、「構想」、「分析・解釈」など、探求の過程に直結した学習活動が配置されている。また、学習後に「活用」を設定することで、内容の理解を深められるようになっている。 2 各節の結論を生徒自らがまとめるようになっており、章末に結論の一覧を示すことで、各節のつながりを意識できるようになっている。また、公式や重要事項を強調しており、「チェック」「学習内容の整理」「確かめと応用」により、自学自習に対応している。さらに、つまづきやすい内容には、「例題」「練習」「確認」が設定され、「考え方」で丁寧な解説が示され、つまづきが克服できるようにしている。 3 観察・実験を通して、課題設定から学習内容のまとめまで、生徒が自ら規則性などを発見できるように、的確に配慮されている。紙面レイアウト 	

では、観察・実験の手順と結果とが同一見開き上に配置されないようしている。

- 4 巻頭・巻末や単元末、各節の導入において、身のまわりの事象について問いを設け考えさせる場面をつくり、主体的に取り組めるようにしている。また、対話を促進するために具体的な対話例を示したり、学びを深めるために、見方・考え方を具体的に示したり節末や章末に問いを設定している。
- 5 物質やエネルギーに関する事象について、観察・実験などを通して、課題設定から学習内容のまとめまで、生徒が自ら規則性などを発見できるように、的確に配慮されている。
- 6 生命や地球に関する事象について、観察・実験などを通して、課題設定から学習内容のまとめまで、生徒が自ら多様性や規則性などを発見できるように、的確に配慮されている。
- 7 エネルギー、粒子、生命、地球の4つの概念に沿って、各単元に教材が適切に配置されている。また、「これまでに学んだこと」で既習事項が提示され、発展的な内容と併せて、小学校や他学年、高等学校との内容の系統性が保たれている。
- 8 観察・実験を通して、課題設定から学習内容のまとめまで、生徒が自ら規則性などを発見できるように、的確に配慮されている。また、レイアウトでは、観察・実験の手順と結果とが同一見開き上に配置されないようしている。
- 9 野外観察や生物の観察などを通して、主体的に自然と関わる中で、生命の尊さや自然環境の大切さに気付かせ、持続可能な社会について考えられる。また、SDGsやESDについて、コラム「つながる科学 環境と科学」「世界につながる科学」で、環境に関する話題を取り上げ、第一学年から持続可能性に対する意識が高められる。
- 10 情報収集が必要な箇所やつまずきやすい学習内容の箇所などに「Dマーク」を付け、数多くのデジタルコンテンツやインターネットへの活用事例を参照する機会を設けることで、ICTの活用が促されている。
- 11 「どこでも科学」として身近な材料でできる実験やものづくりの題材を数多く取り上げ、手軽なものづくりを通して学習内容の理解が深まる。また、巻末付録のペーパークラフトなど、個でも取り組むことができる。さらに、巻末資料「理科の学習を深めよう 校外の施設の活用」で、博物館や科学館、水族館などの校外施設が紹介され、それらを活用しながら学習を深められる。
- 12 導入には、身のまわりの生物や日常生活に目にする現象の観察が多く取り上げられている。また、「つながる科学」や「世界につながる科学」などで、日常生活や社会との関連をふり返ることができる。さらに、様々な職業や人を学習内容と関連づけて紹介し、生徒の意識が職業に向かうようにし、科学が様々な職業で役に立つ姿を伝えることで、科学の有用性を感じられる。
- 13 全般的な安全指導として、「理科室のきまりと応急処置」が全学年に掲載されている。また、観察・実験ごとに、注意事項について注意マークが目立つように付けられ、注意すべき観点が類型化されたアイコンで分かりやすく示されている。

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
理科	4	大日本	理科の世界

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○ 学習指導要領に示された内容をもれなく扱うとともに、生徒自らが理科の見方・考え方はたらかせ、見通しをもって活動に取り組むことにより、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成できるように配慮している。
	2 内容に関する配慮事項	○ ダイナミックな写真やイラストや分かりやすい丁寧な資料を掲載することで、生徒の興味・関心を高め、自然の事物・現象に意欲的に関わろうとする態度が育まれるようにしている。 ○ 「Science Press」「くらしの中の理科」「Professional」「科学のあしあと」などの資料を充実させることで、興味・関心を高めながら、生徒が主体的に深い学びを実験できるように内容を構成している。
	3 分量	○ 各学年とも配当時数にゆとりをもたせており、ゆとりの時間は必要に応じて補充や発展的な学習などに充てることができるようになっている。
	4 使用上の便宜	○ 地域や学校の実態に応じた順序で学習することが可能になっている。 ○ 自然を愛する心情や主体的に探究しようとする態度が養われるような資料を多く掲載している。 ○ 全学年を通して「理科の学習の進め方」をもとに学習を進めることで、見通しをもって探求が進められるようにし、思考力・判断力・表現力等が育成できるようにしている。
	5 印刷・製本等	○ ユニバーサルデザインに配慮した書体を使用し囲み資料などは生徒が読みやすいようにレイアウトに配慮している。 ○ 製本は、開きやすく中央部がよく見えるように配慮し（アジロ綴じ）、表紙には、丈夫で汚れにくいコーティングを施している。 ○ 環境に配慮した紙や植物油インキを使用し自然環境保護やシックスクールなどにも配慮している。
教科ごとの選定の観点		<p>1 「探究の進め方」では、見方・考え方の例を示し、探究活動の指針となるようにしており、各単元では領域ごとの特徴的な見方を意識した課題設定をしている。また、探究の過程を通した学習活動の中で、「比較する」「関係づける」「条件を制御する」「多面的に考える」などの方法を用いて考えられるようにしている。</p> <p>2 学習内容についての課題、観察・実験のタイトル、目的、着目点を明示し、探究の過程をわかりやすくすることで、基礎的・基本的な知識・技能が身につくようにしている。</p> <p>3 各単元では、観察・実験、「やってみよう」などの活動を重視した構成にしており、課題の把握、課題の探究、課題の解決といった探究過程を意識した構成になっている。</p> <p>4 学習の導入では、学習内容と関連する身近な事象から問題を見つけ、課題を見出せるような構成にしている。また、学習内容が日常生活や社会で活用されている話題を紹介し、生徒の興味・関心を高められるようにして</p>

	<p>いる。</p> <ol style="list-style-type: none">5 物質やエネルギーに関する事象において、学んだことを活用し、自ら課題を見つけ探究する場面を設定することで、規則性を見いだすことができるようにしている。6 生命や地球に関する事象において、学んだことを活用し、自ら課題を見つけ探究する場面を設定することで、規則性や多様性を見いだすことができるようにしている。7 「つながる」では、小学校算数や中学校数学、保健体育など、学習内容に関連する他教科の学習内容を履修学年とともに示している。また、語句の意味や英語での表現、話題になった年代と同じ頃に日本で起こっていたことなどを紹介し、国語や英語、日本の歴史に興味・関心をもてるようにしている。8 観察・実験は、課題に沿った内容になっており、操作の要点や考察のヒントを示し、探究的な活動をサポートしている。また、観察・実験において、課題文や疑問などを提示し、目的や着目点を分けて明記し、科学的な探究の過程が明確になるようにしている。9 生物の学習を通して、生命の連続性や自然界のつり合いについて考えを深め、自然の大切さに気付くようにしている。また、自然環境の保全に関する資料には、印をつけて意識させ、環境保全に寄与する態度を養うようにしている。10 インターネットの利用、コンピュータなどのデジタル機器の活用を通して、情報の活用・処理能力や態度が育つようにしている。また、ウェブサイトが利用できることを示し、それらの活用を促している。11 「行ってみよう！科学館や博物館」を掲載し、校外施設と学習の関連を図っている。また、各学年の目次の、継続観察で学習意欲を高め1年を通して観察時期をのがさないようにしている。12 理科の学習と職業との関連を示す資料や日常生活や社会との関連を示す資料を豊富に掲載し、職業や生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるようにしている。13 観察・実験は、安全や環境への配慮を十分に検討し、方法を改良したり、留意事項を示したりしている。また、楽しく安全に実験を行う心構えや留意事項をまとめた「理科室のきまり」を掲載し、薬品の扱い方や使用する薬品の留意事項をまとめ、安全に実験できるようにしている。
--	---

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
理科	11	学図	中学校科学

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	○ 科学的に探究する方法について丁寧に説明し、多様な活動が準備されている。また、科学的な知識を身に付けられるようにわかりやすい記述が心がけられており、科学的に探究する能力と態度を育むように構成されている。
	2 内容に関する配慮事項	○ 章はじめの「Can-Do List」で、資質・能力の3観点を明示しており、各章でどのような知識を身につけるのかなどの見通しをもって学習を進めることができるように配慮されている。 ○ 観察・実験の「結果」と「考察」の欄が設けられており、それぞれの視点を意識させ、「結果」に基づいて考えさせるように配慮されている。
	3 分量	○ 各学年とも相当なゆとりをもって学習を進められるように構成されている。そのため、探究活動を充実させたり、基礎基本の定着に力を入れたりなど、生徒の実情に応じた手立てがしやすくなっている。
	4 使用上の便宜	○ QRコード教材として、多様なプログラミング教材が準備されており、教科書紙面でもフローチャートなどが紹介されている。 ○ 生徒の興味・関心を高めたり学習内容の理解をさらに深めたりする内容が関連する箇所に設けられており、生徒の実情に合わせて取り上げられるように配慮されている。 ○ 見方・考え方のヒントや1時間ごとの課題・まとめのヒント、観察・実験のヒントなど、授業づくりのヒントが示されている。
	5 印刷・製本等	○ グラフについても、色だけで区別するのではなく、線の形を変えて、見やすくわかりやすいように配慮されている。 ○ 従来のカラーユニバーサルデザインや、ユニバーサル書体の使用に加えて紙面デザインを控えめに、重要な内容を箇条書きになど分かりやすくするために紙面を刷新している。
教科ごとの選定の観点	1 科学的に探究する方法について解説されており、すべての探究のページで、その方法を身につけるために適した構成になっている。また、「見方・考え方」の例が示され、「見方・考え方」をはたらかせて、その時間の課題に取り組むように促している。 2 学習のまとめと単元末問題が設定されている。また、観察・実験の基本操作・基本技能については、手順や注意事項が丁寧に記述されている。 3 科学的に探究する方法について解説されており、その方法を身につけるために適した構成になっている。 4 資料性が高い写真や図が用いられたり、地域性のある写真やデータが多く取り上げられたりすることで、学習意欲を高め、学習内容への理解が深まるように配慮している。 5 第1分野において、資質・能力の3観点を明示しており、この分野でどのような力を身につけるのか見通しをもって自ら学習を進めることができ	

	<p>るようになっている。</p> <p>6 第2分野において、資質・能力の3観点を明示しており、この分野でどのような力を身につけるのか見通しをもって自ら学習を進めることができるようになっている。</p> <p>7 他教科との関連を示すため、「つながり・数学」などとして示されている。</p> <p>8 観察・実験のあとに、結果が示され、さらに結果から導き出されることが考察としてまとめており、結果を分析・解釈する能力の育成ができるようになっている。</p> <p>9 植物や動物のからだのつくりや働きを調べたり、人間と自然の関わりなどについて学習したりして、生命の尊重と環境保全の態度を育み、第3学年の最後には、人間がもつ科学技術の使い方を考え、持続可能な開発目標についての意識が高められるようになっている。</p> <p>10 QRコード教材として、多様なプログラミング教材が準備されており、フローチャートなどが紹介されている。また、インターネットを利用するときの注意や記述を引用するときの注意について取り上げている。</p> <p>11 生徒が自ら活動できるものづくりの内容を「やってみよう」として掲載している。また、継続観察・観測が適している探究では、単元のはじめにその内容を取り出し、自然体験の充実が図れるようになっている。</p> <p>12 働く人を紹介する「ミッションX」では、学習内容と職業との関連を理解し、科学を学ぶ意義や有用性を実感できるようにしている。</p> <p>13 危険防止が必要な箇所には、マークを表示し、注意する内容を明示している。また、廃液の処理などの環境へ配慮する態度を育成するための注意事項を示している。</p>
--	---

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
理科	17	教出	自然の探究 中学理科

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<p>○基礎・基本の重要語句を確実に習得できるように、重要語句は赤色の太文字を使い、章ごとに「要点と重要用語の整理」と「基本問題」があり、基礎の定着をはかるようになっている。</p> <p>○観察・実験においては、目的意識をもって課題にとりくめるように、疑問→課題→仮説→計画を立てて、実験を行い、まとめにおいても科学的な思考力・表現力を育むようにしている。</p>
	2 内容に関する配慮事項	<p>○各単元扉の「学んでいくこと」で学習内容の系統を示したり、各章扉の「これまでの学習」でその章の学習内容に関連する既習内容を示したりすることにより、学習の系統を意識できるように配慮されている。</p> <p>○「ハローサイエンス」では、実生活に密着する内容を取り上げ、そこから発展的な内容に意欲をもって取り組めるように配慮している。</p>
	3 分量	<p>○各学年とも基本的な学習内容は、3年間の総授業時数内でゆとりを持って指導できるようになっている。また、時間配分・学習指導計画もそれに準じて考えられている。</p>
	4 使用上の便宜	<p>○所々に会話のふきだしを設け、ヒントを与えることによって、生徒の思考を助け、考えを導き出そうとしている。</p> <p>○観察・実験を安全に行えるように、わかりやすいマークと文章で、説明しており注意を喚起している。</p> <p>○単元扉や章の導入では大判の紙面のメリットを生かし見開き表示などダイナミックなイラストや写真が豊富に掲載されていて生徒の興味・関心を引き出して学習の効果が高まるように配慮されている。</p>
	5 印刷・製本等	<p>○紙面の印刷にあたってはイラスト、写真が正確な色彩で再現され、生徒が親しみやすく意欲を持って学習できるように細部にわたって配慮されている。また、製本は、網代綴じになっており、広い開きで見やすくなっている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインにより、判読しやすい配色がレイアウトになっており、生徒にとって学びやすい紙面づくりになっている。</p>
教科ごとの選定の観点		<p>1 導入→課題の把握→予測・推論→観察・実験の実施→結果の分析・解釈→規則性の発見→レポートの作成→発表という流れを重視し、繰り返し探究活動を行うことで科学的な見方や考え方が身につくようにしている。</p> <p>2 観察実験の前には必ず「課題」を、観察・実験の内容に応じて「話し合おう」や「考えよう」を設け、実験結果の予測や実験仮説の設定、実験計画の立案などを円滑に行えるようにしている。また、観察・実験の「方法」には、操作の目的を明確にする小見出しをつけている。</p> <p>3 第1学年の巻頭「理科学習の進め方」では、小学校での実験を例として、中学校ではどのように学習を進めていくか、科学的に探究する過程をわかりやすく説明している。「疑問をもつ」→「課題を設定する」→「仮説をもち計画を立てる」→「観察や実験を行い、結果を得る」→「得られた結果を</p>

もとに考察する」→「新たな疑問から、さらなる課題へ」というように段階的に説明している。

- 4 第1学年の巻頭「なぜ理科を学ぶのか」では、理科を学ぶことの意義を端的に説明することで、理科学習への動機づけを行っており、各単元や各章の最初のページでは、導入部を設定することで、各単元の学習への興味や関心が高まるように工夫している。
- 5 第1分野において、基礎的・基本的な知識及び技能が確実に定着し、それらを活用する能力を育むことができるように工夫している。
- 6 第2分野において、基礎的・基本的な知識及び技能が確実に定着し、それらを活用する能力を育むことができるように工夫している。
- 7 小学校で学習した内容、中学校でこれまでに学習した内容を明記し、小学校・中学校を通した内容の一貫性が図れるようにしている。
- 8 探究の過程のなかに観察・実験を適切に位置づけることによって、生徒自らが目的意識をもって観察・実験に取り組むことができるようにしている。また、観察・実験では、「準備→方法→結果→考察」と項目を細かく示し、生徒が主体的に取り組めるように流れ図を採用している。
- 9 生命や環境に関わる学習を数多く掲載し、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度が養われるように工夫されている。環境について科学的に考える内容には「環境」というマークを付けている。
- 10 実験データの自動測定、計測したデータの処理、各種ソフトウェアの活用例、ウェブページの検索の仕方など、コンピュータを積極的に活用するように配慮されている。
- 11 第一学年の巻末「簡単なカメラをつくろう」の他、「活用しよう」などにおいて、ものづくりの題材を取り上げている。各学年の巻末にある「校外の施設を活用しよう」において、博物館や科学館、動物園などの施設の活用例を多数紹介し、積極的な活用を促している。
- 12 第一学年の巻頭「なぜ理科を学ぶのか」では、理科を学ぶことの意義を明確に示し、科学への関心が高まるように配慮している。単元や章のはじめでは、日常生活で目にすることができる事象を多く取り上げ、日常生活に密着した話題を積極的に取り上げている。
- 13 全般的な安全指導と教科書で使用する主な物質・試薬に関する安全上の注意事項を全学年に掲載し、丁寧に解説している。

教科書種目	発行者		教科書名(シリーズ)
	番号	略称	
理科	61	啓林館	未来へひろがるサイエンス

項目		項目毎の調査研究結果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	<p>○基礎的・基本的な知識・技能が確実に定着するように工夫されている。</p> <p>○発展的な学習内容が効果的に掲載され、個に応じた学習に対応している。</p> <p>○全体的に探究的な学習過程が重視されており、観察・実験の計画を立てたり、結果を分析・解釈したり、表現したりする力が育つように工夫されている。</p>
	2 内容に関する配慮事項	<p>○AB判を生かしたダイナミックな単元導入で、学習への興味・関心を喚起している。また、「科学にアクセス」QRコードを読み取ると、単元の導入動画が視聴でき、生徒の興味・関心や学習意欲が向上するように配慮されている。</p> <p>○「振り返り」が設定されており、課題解決的な学習を行えるように配慮されている。</p>
	3 分量	<p>○学習指導要領の内容・取り扱いに基づき、配当時数は余裕をもって指導できるように配慮されている。</p> <p>○実験・観察は3段階に設定されており、柔軟に対応できるようになっている。</p>
	4 使用上の便宜	<p>○適所に配置されたキャラクターの発言などで、理科の見方、考え方を働かせた思考や表現の例がさりげなく示されており、生徒が自発的に理科の見方、考え方を働かせることができるように配慮されている。</p> <p>○観察・実験で、「目的」が明示されており、観察・実験によって何を解決したいのかを意識できるようになっている。</p> <p>○実験の基本的な技能が「実験のスキル」や「サイエンス資料」で丁寧に示され着実な定着が図られている。</p>
	5 印刷・製本等	<p>○発色性にすぐれた用紙を使用し、目に優しく、読みやすい紙面になるように光沢を抑える工夫がなされている。</p> <p>○写真やイラストは最新のフルカラー印刷で色や質感の再現を重視した鮮明な印刷となっている。また、製本は針金を用いない「あじろ綴じ」製本で紙面をより大きく有効活用できる。</p>
教科ごとの選定の観点	<p>1 理科の見方・考え方を働かせた思考や表現の例がさりげなく示されており、自発的に理科の見方・考え方を働かせることができるように配慮している。単元末には、学習内容を活用して身近な疑問を解決するために、働かせたい理科の見方・考え方が具体的に例示されている。</p> <p>2 観察・実験から導き出された考察及び結論が、まとめの文章で丁寧に示され、読んで理解できる構成となっている。また、各章末では、その章で学習した基礎的・基本的な問題が掲載され、知識や技能が確実に定着する構成となっている。さらに、観察・実験の基本的な技能が、丁寧に示され着実な定着が図られている。</p> <p>3 教科書全体で探究的な学習過程が重視され、観察・実験の計画を立てたり、結果を整理して分析・解釈したり、表現したりする力が育つように工</p>	

夫されている。また、節ごとに、課題の把握→課題の追究→課題の解決のように構成され、探究する力が重視されている。

- 4 教科書全体を通して、生徒の探究する意欲を喚起させる題材が取り上げられている。単元の導入やガイダンスは、生徒の興味・関心を高め、自然の事象に進んで関わる態度の育成につながるように配慮している。
- 5 物質やエネルギーに関する事象について、探究的な学習過程が重視され、観察・実験の計画を立てたり、結果を整理して分析・解釈したり、表現したりする力が育つように工夫している。また、環境やエネルギー問題について、科学的な根拠に基づいて意志決定する態度を育てるようにしている。
- 6 生命や地球に関する事象について、探究的な学習過程が重視され、観察・実験の計画を立てたり、結果を整理して分析・解釈したり、表現したりする力が育つように工夫している。また、単元の導入には、美しく興味深い写真や資料が提示され、自然の美しさ・精妙さを感じ得るように工夫している。
- 7 他教科と関連している学習内容には、その教科名を表示し、学びの広がりや深まりを実感するきっかけを与えている。また、全学年に設定されたサイエンス資料では、密度や質量パーセント濃度の計算など、生徒が苦手とする定量的な扱いを補助する数学の考え方が丁寧に紹介されている。
- 8 観察・実験では、目的、方法、結果、考察の過程が1本のラインで示され、見通しをもって観察・実験を行えるように配慮されている。
- 9 多くの動植物や自然環境が紹介され、自然の共通性・多様性と豊かさに目を向けられるように工夫されている。また、動物を観察する活動には、動物に負担をかけないように、手早く行い、傷を付けないように注意が促されている。さらに、環境への意識を芽生えさせ、持続可能な社会の実現に集約していくことができるように全学年に環境に関する話題が紹介されている。
- 10 サイエンス資料で、ICTを活用した情報の入手、データの処理、結果の共有・発表などの調査・研究の方法が紹介されている。また、タブレット型コンピュータやPCなどのICT機器の活用が有効な場面が提示されている。
- 11 活動タイプの、ものづくりの活動が紹介され、全学年に継続的な観察、観測が設定されており、計画的な観察・観測を粘り強く行う姿勢を育てる配慮がなされている。
- 12 科学コラムでは、部活動や食育に関連した内容やキャリア教育につながる内容など、実生活や実社会と関連づけた内容が充実している。また、学習内容と職業との関連が紹介され、暮らしの中に理科の学びが活かされていることを認識することができる。
- 13 観察・実験の「安全マーク」は、文字やアイコンで示されており、注意すべき内容が確実に伝わるように配慮されている。また、加熱器具の扱い方や薬品のとりあつかいなどが丁寧に示されている。